

九州大学附属図書館におけるEBSCO FOLIO ERMの導入

西, 真里恵
九州大学附属図書館eリソース課

宮崎, 祐汰
九州大学附属図書館学術サポート課

<https://hdl.handle.net/2324/7160829>

出版情報 : 2023-07-25

バージョン :

権利関係 : Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike International



九州大学附属図書館における EBSCO FOLIO ERM の導入

一緒に考えませんか？ 電子リソースのマネージメントと利活用
＝ 図書館目線と利用者目線から＝

2023年7月25日（火）福岡 | 26日（水）大阪 | 27日（木）東京

九州大学 附属図書館
eリソース課 西 真里恵（福岡・大阪）
学術サポート課 宮崎 祐汰（東京）
2023年12月28日 公開用に加筆修正





九州大学附属図書館について

九州大学

- 福岡市内＋近郊に計4キャンパス
- 12学部、19研究院
- 学生18,600名、教員2,150名

附属図書館

- 中央・理系・医学・芸術工学・筑紫の計5館
- 総蔵書数(2023年3月時点)

図書423万冊、雑誌7.7万タイトル

- 電子コンテンツ数(2023年3月時点・購入分のみ)

ジャーナル 洋:41,500タイトル 和: 1,600タイトル

ブック 洋:67,000タイトル 和:13,000タイトル

電子リソース管理体制

eリソース管理係

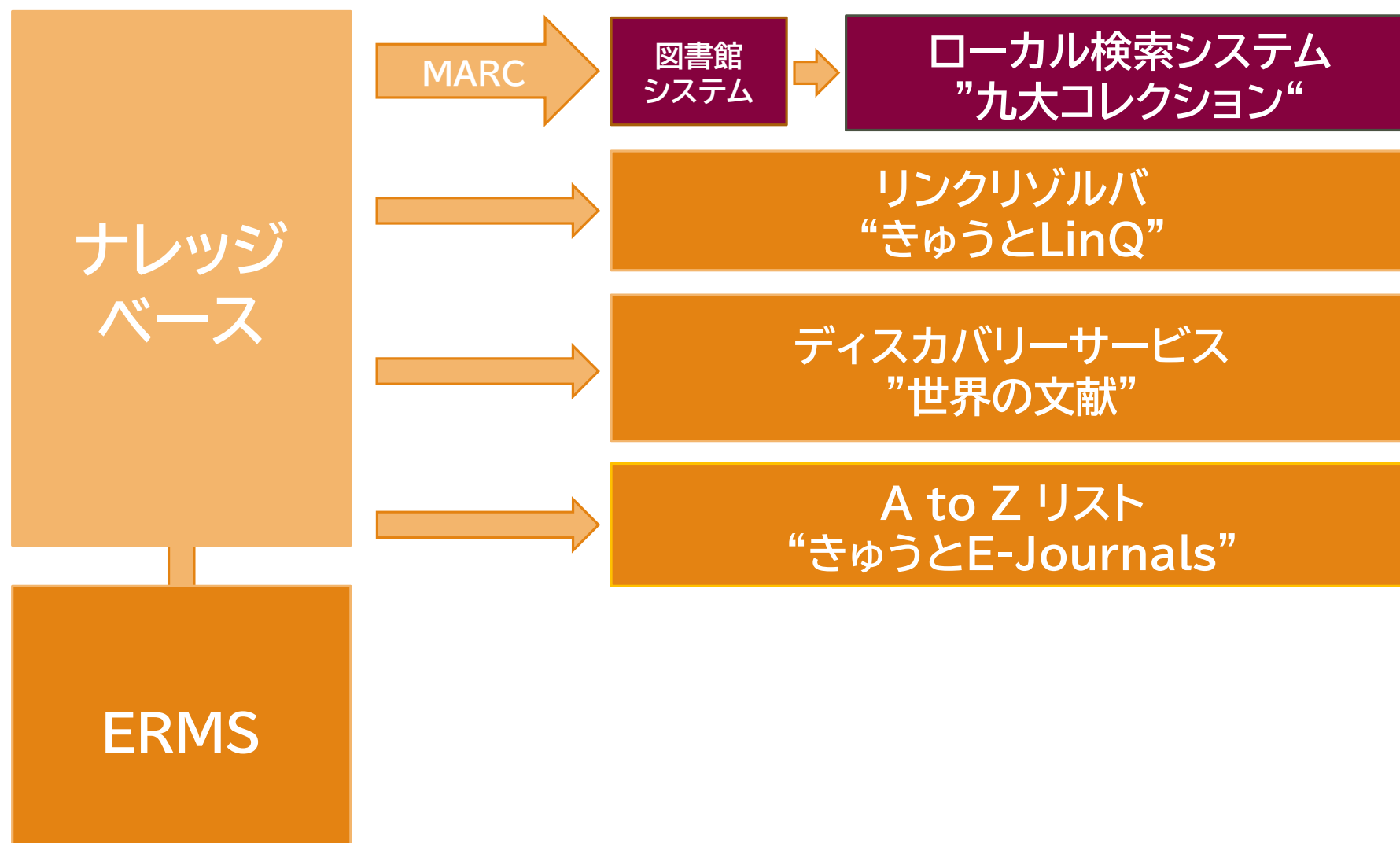
- 係長1名、係員2名(1名出向中)
- 電子リソースの契約・管理
- 電子リソース管理システムの統括

システム企画係

- 係長1名
- 図書館システム全体の企画・統括

導入までの経緯

九大の電子リソース管理・提供システム

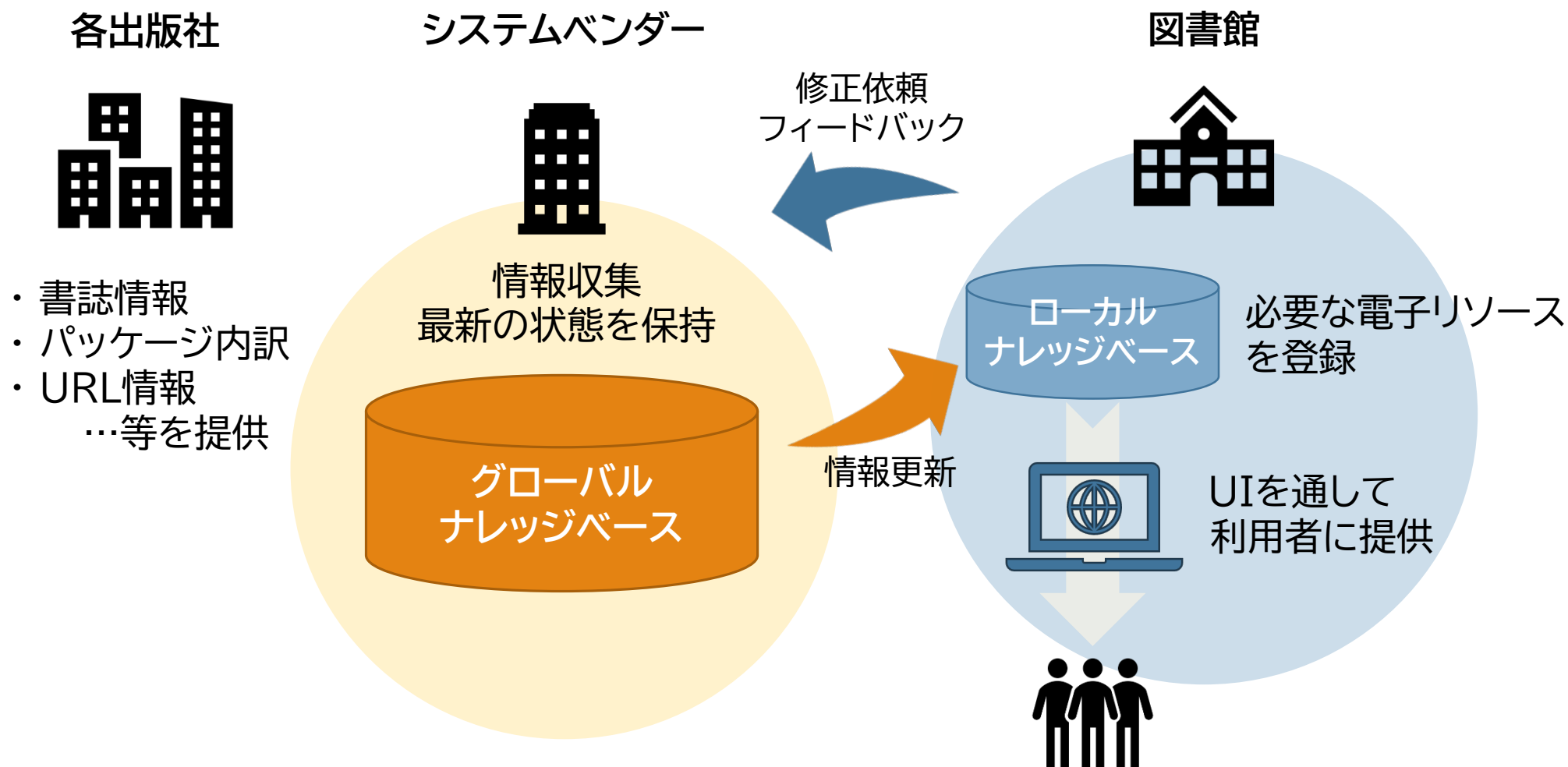


ナレッジベース(Knowledge Base・KB)とは ①



- 電子ジャーナルと電子ブックのタイトルリスト
 - システムベンダーが電子リソースのメタデータを網羅的に収集し、最新の状態で保持
 - 図書館は自館で利用可能な電子リソースを選択
 - 選択しておいたコンテンツには
 - パッケージやアグリゲータの収録タイトルの入替
 - 各コンテンツのURL等の変更
- などが自動で反映される。(都度手動更新は不要！)

ナレッジベース(Knowledge Base・KB)とは ②



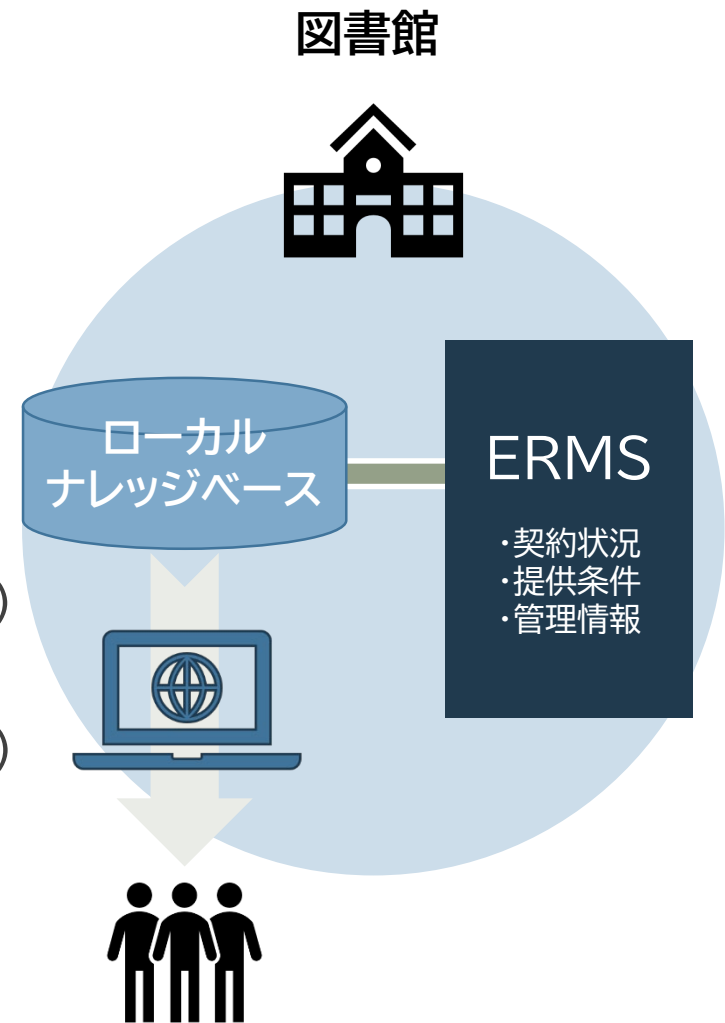
ERMSとは

電子リソース管理システム
(Electronic Resource Management
System)の略。

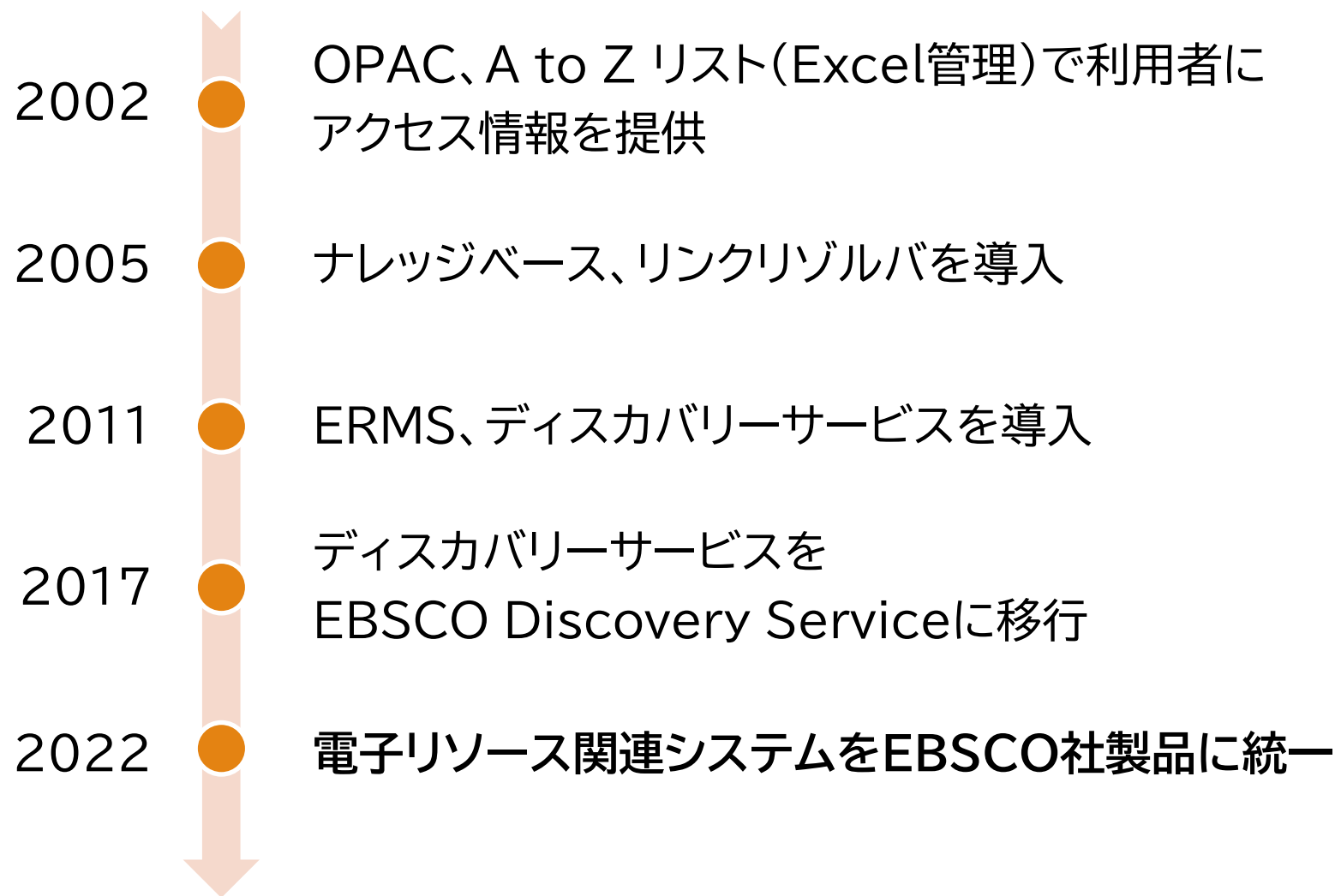
ナレッジベースと紐付けて、各電子リソースの

- 契約状況・アグリーメントファイル
- 提供条件
(ILL、Walk in User、リモートアクセス…)
- 管理情報
(管理者ページ・ログイン情報・契約金額…)

を一元的に管理するシステム。



九大 電子リソース管理・提供システムの変遷



ナレッジベース導入前（～2005）

提供方法

- OPACの雑誌書誌に電子ジャーナルのURLを設定
- A to Z リスト（上記＋出版社提供データをExcel管理してアップロード）

管理方法

- 1点ずつ手動メンテ:URL変更等のメンテナンスが後手にまわる
 - タイトルの出入りの管理が追いつかない
- 契約していたうち、リストに登録できていたタイトルは6千/1.5万件・・・

電子ジャーナルの収録情報・URL情報を
世界？日本？のどこか一カ所で
管理してくれたらいいのになぁ・・・

2005年 ナレッジベース導入

電子リソースリスト(ナレッジベース+A to Z リスト)、
付帯サービスとして提供されていたリンクリゾルバを導入

- パッケージに含まれるタイトルの入替・各タイトルのURL変更等
自動で反映
- アグリゲータ・無料誌も気軽に登録可能
登録タイトルが6千→2.2万タイトルまで増加！(2005年当時)
- UI側では主題やDOI、PubMedID等からも検索が可能に

2011年 ERMS導入

電子リソースリスト・リンクリゾルバに続き、
同ベンダーのERMSを導入

- コンテンツと契約条件等の情報を一元管理
→情報が分散せず、各コンテンツに関する情報が確認しやすく
- 各キャンパス・各担当者(特に利用者対応担当者)でも
情報の参照が容易に
→ユーザーに対するサービスの安定化

2020年～ 移行の検討

使用システムの提供元が、後継サービスの開発に注力

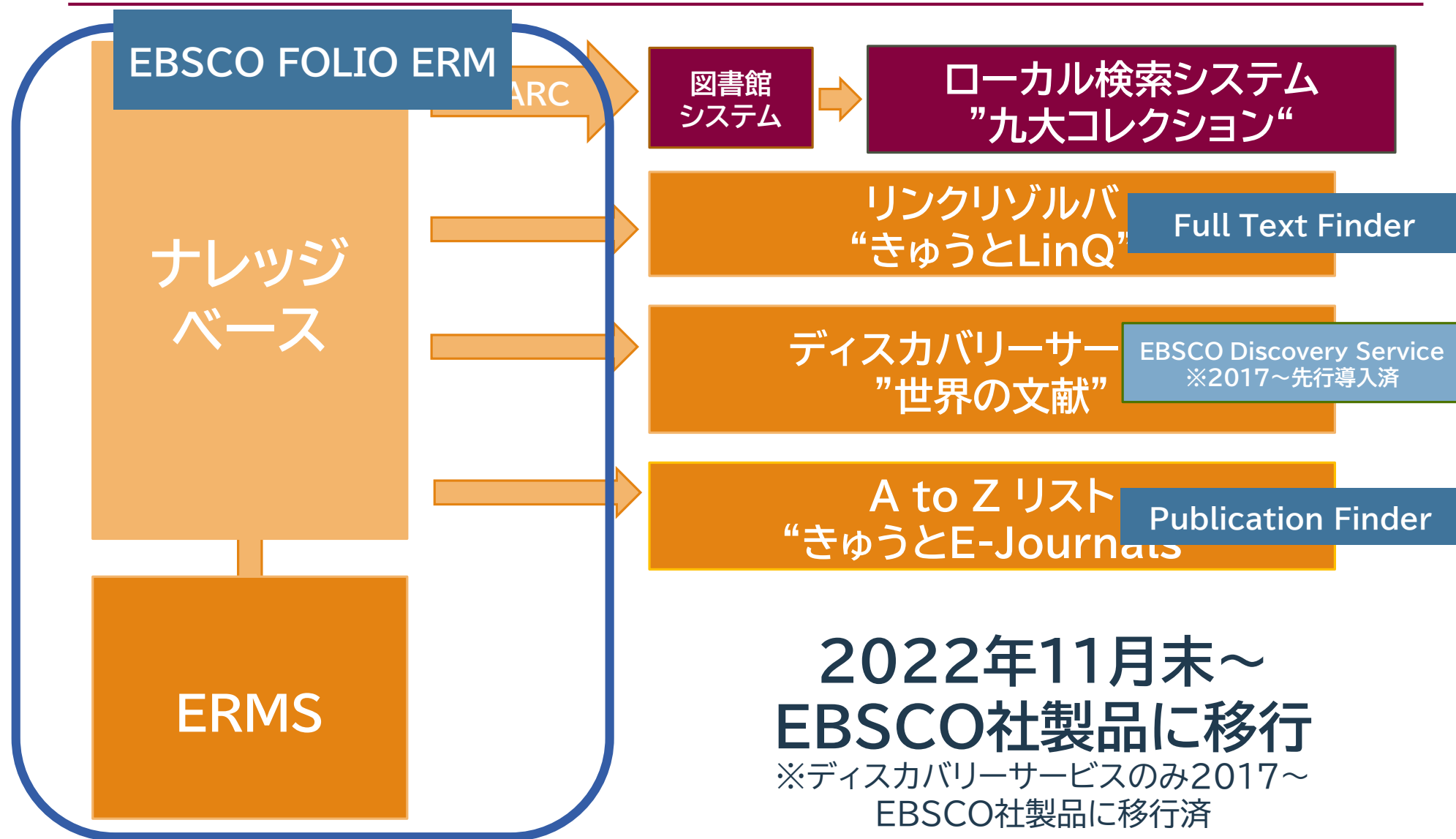
→図書館システムリプレイスを機に、他システムへの移行を検討

	管理者側の 操作性	システムの 熟度	将来性	経済性	ユーザーサービ スとの連携	移行の労力	ユーザーの 操作性	ナレッジベース の 充実度
前システム	×	○	×	△	△	○	同程度	
	とにかく重い 古くてシンプル	エラーは少ない	先がない…	EDSと別調達	EDSとねじれ	なし		
EBSCO社 製品	○	△	○	○	○	×		
	速い UIがきれい	成長途上	期待大	EDSとまとめて 契約可能	ベンダー統一で シンプルに	大変		



国内で初めてEBSCO FOLIO ERMの導入を決定

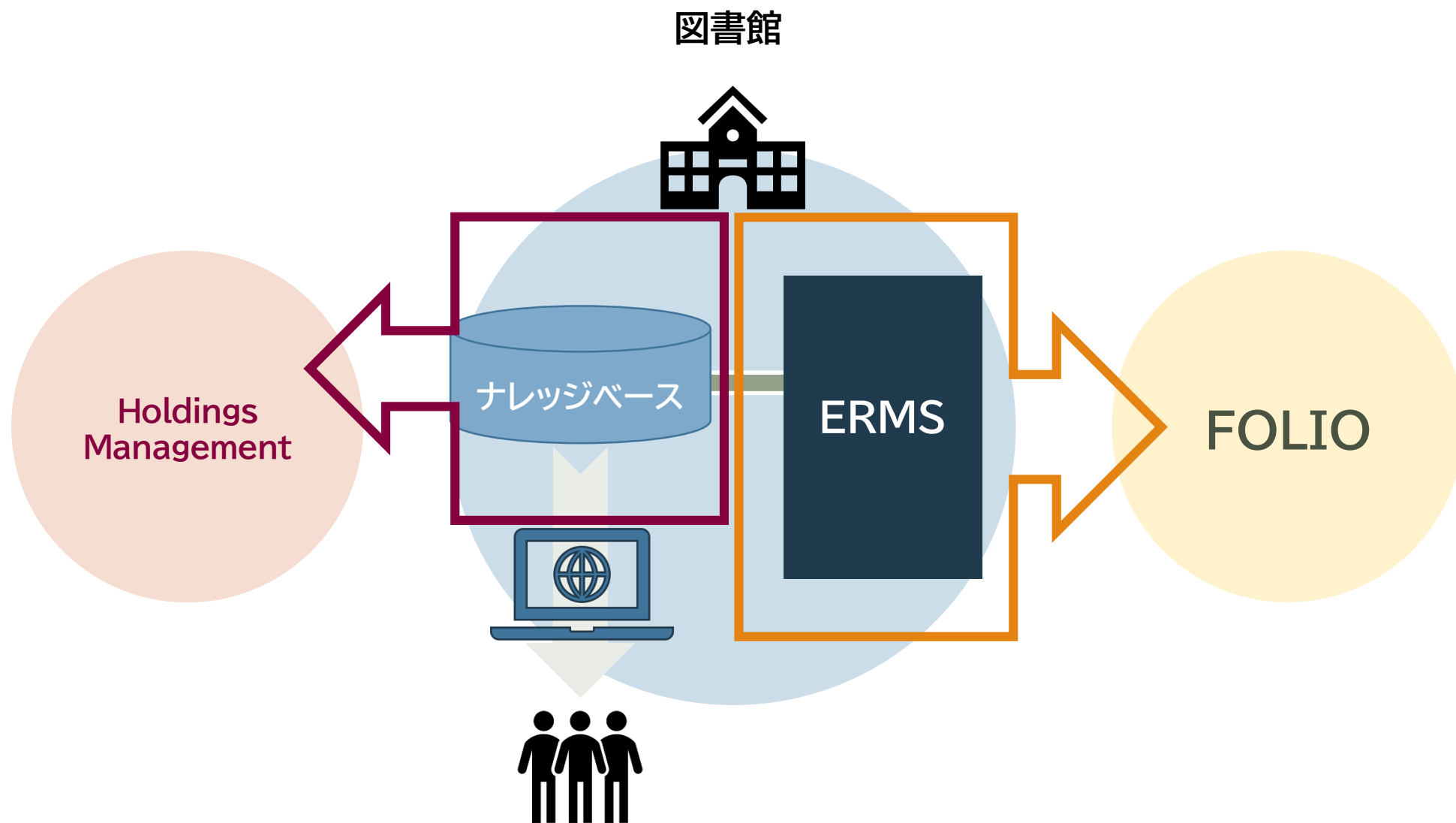
電子リソース管理・提供システム



実際の運用



使用インターフェース



使用インターフェース① Holdings Management (HLM)

EBSCOADMIN

Welcome: Trial for ERMS Change Password Support & Training Help Logout

Current Site: [REDACTED] Site/Group Maintenance

Customize Services Holdings Management Local Collections Reports & Statistics Database Title Lists

Overview Titles Packages Vendors Links Notes Upload Download Languages

Enter a search term Title Name Search

Unique Titles

Managed vs Custom

Category	Count	Percentage
Managed	384505	98%
Custom	3941	1%

Holdings

Managed vs Custom

Category	Count	Percentage
Managed	471582	99%
Custom	3955	<1%

Packages

Managed vs Custom

Category	Count	Percentage
Managed	541	97%
Custom	13	2%

Quick Actions

- Create Custom Resource
- Create Custom Package
- Match Custom Titles to EBSCO's G

Holdings Upload/Download St

File Name

©EBSCO

- EBSCO adminに搭載
- ナレッジベースを基調にしたシステム
- ユーザーインターフェースとの連携
- ナレッジベース上のデータのファイル出力・一括更新も可能

使用インターフェース② FOLIO

電子所蔵

契約

ダッシュボード

電子所蔵

エクスポート管理

ライセンス

組織

タスク

アプリ

?

検索と絞り込み

パッケージ

956 検索結果

新規

プロバイダー

パッケージ

タイトル

ScienceDirect

検索

タグ

並べ替え条件

選択状態

全部

選択済み

未選択

コンテンツタイプ

ScienceDirect

Elsevier Science

選択済み : 2,350 タイトルの合計: 51,730

ScienceDirect (UNSEIAC)

Elsevier Science

未選択 タイトルの合計: 329

ScienceDirect (BIBSAM)

Elsevier Science

未選択 タイトルの合計: 2,246

ScienceDirect (FinELib)

Elsevier Science

未選択

ScienceDir

Elsevier Science

未選択

ScienceDir

Elsevier Science

未選択

ScienceDir

Elsevier Science

未選択

ScienceDir

Elsevier Science

未選択

©EBSCO

FOLIO :

オープンソースの図書館サービスプラットフォーム

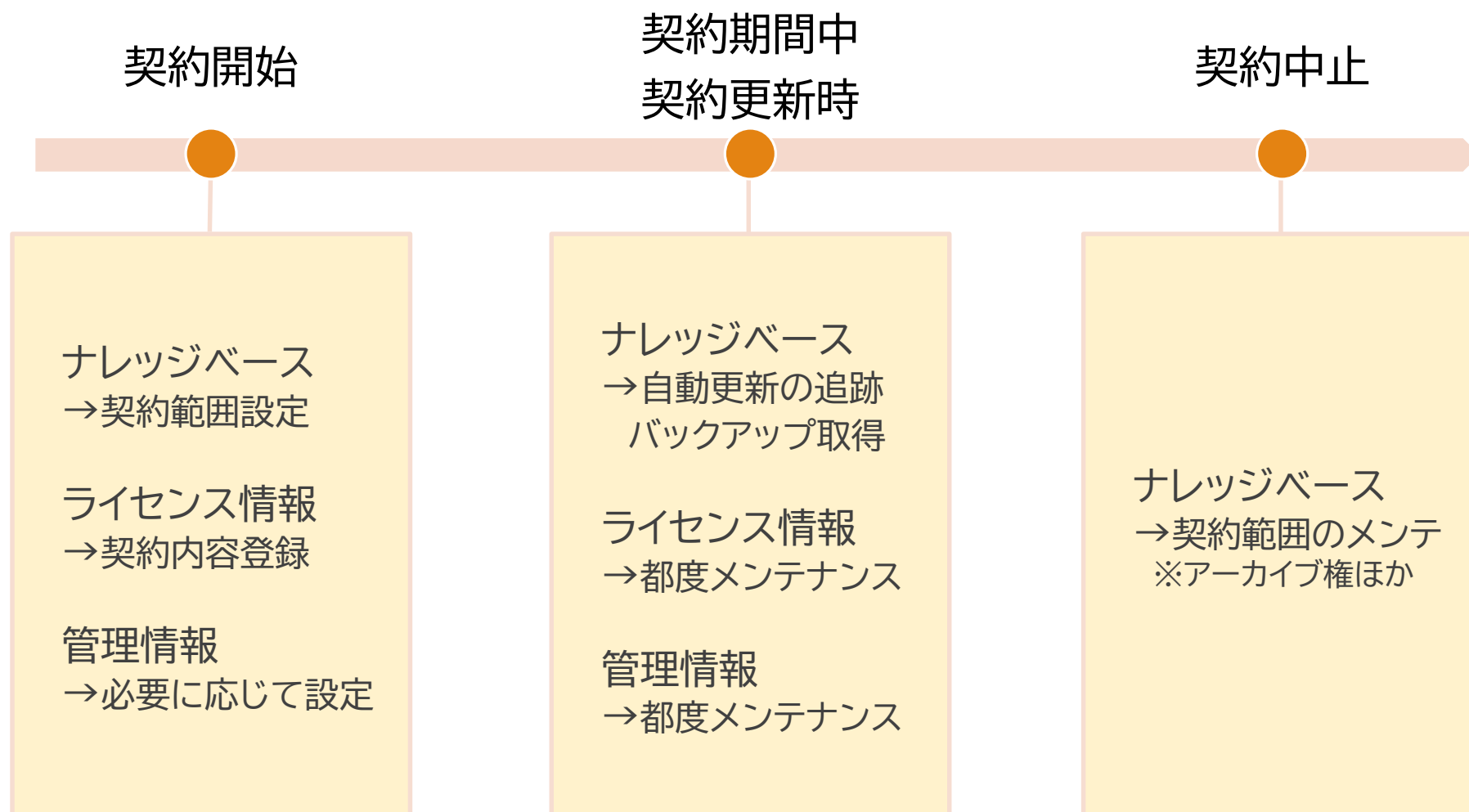
図書館・ベンダー各社・開発者の協力で構築

九大は電子リソース管理関連アプリのみ契約

HLMと連携してナレッジベースを参照 修正等も可能

所蔵情報に管理情報を紐付け

ERMSを用いた業務



移行作業について



移行スケジュール

2020年	ERMS移行検討開始
2021年6月	トライアル・検証
9月	EBSCO FOLIO ERMの導入を正式に決定
12月	各データ(KB/契約/MARC…)のマッピング検討
2022年2月	アグリーメント締結
6月	キックオフミーティング→データ移行開始
	・7月 業務フロー・KBデータ・組織データの提供
	・8月 ライセンスデータの提供
	・9月 契約データの提供
	KBデータ登録完了・内容確認
10月	HLMとFOLIO電子所蔵アプリの結合
2022年11月末	運用開始

データ移行について

- 定期的なミーティング
- ERM系アプリ内のデータ(組織・契約・ライセンス…)はすべてEBSCO社側がスクリプトを組んで一括登録
- 一括登録以外の作業:
 - ナレッジベース構築→ EBSCO社担当チームで作業実施
 - 契約データとナレッジベースの紐付け・ナレッジベース修正→図書館で作業実施

※ナレッジベース構築作業において、

- ・ EBSCO社のナレッジベースに版元から提供されていないデータ
- ・ 二重登録・所蔵範囲誤設定・別プラットフォームのデータの誤登録…等、意に沿わないデータが多発。 現在も調整・メンテナンス継続中

データ一括登録 作業イメージ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
1	LICENSE NAME	LICENSE TYPE	Status	ALT NAME	DESCRIPTION	ORG CODE	START DATE	END DATE	Open ended	NOTES												
2	AACR_2015	Local	Active				2015-01-01	2015-12-31														
3	AACR_2017	Local	Active				2017-01-01	2017-12-31														
4	AACR_2018	Local	Active				2018-01-01	2018-12-31														
5	AAI_2009	Local	Active				2009-01-01	2009-12-31														
6	ACM Portal 2006-2008	Local	Active				2006-04-01	2009-03-31														
7	ACM Portal 2010-2012	Local	Active		2013/3/31まで自動更新		2010-04-01	2012-03-31														
8	ACS	Local	Active																			
9	ACS_2012	Local	Active		自動更新 (5年毎にAgreementを締結)		2012-01-01	2012-12-31														
10	ACS_2018	Local	Active		自動更新 (5年毎にAgreementを締結)		2018-01-01	2018-12-31														
11	AGU 2009	Local	Active																			
12	AGU 2011	Local	Active		Terms of Useについてのペンダライセン (Attachment D): http://www.agu.org/pubs/pd																	
13	AGU 2012	Local	Active		契約期間終了後も1年単位で自動更新/		2012-01-01	2012-12-31														
14	AIAA_2009	Local	Active		Agreementは自動更新		2009-01-01	2009-12-31														
15	AIAA_2013	Local	Active		Agreementは自動更新		2013-01-01	2013-12-31														
16	AIP	Local	Active																			
17	American Diabetes Association	Local	Active																			
18	American Fishers Society	Local	Active																			
19	American Medical Association 2011	Local	Active				2011-01-01	2011-12-31														
20	American Medical Association 2018	Local	Active				2018-01-01	2018-12-31														
21	American Medical Association backfiles	Local	Active				2012-01-01															
22	American Meteorological Society	Local	Active				2011-01-01	2011-12-31														

EBSCO社

図書館

登録用のフォーマット(Excel)提供

Excelにサンプルデータを入力

FOLIO上に仮登録

登録データの検証・全データ作成・提供

全データ一括登録

内容確認・調整

移行してみて 良かった点

- 使い勝手が格段によくなった！UIがきれいで動きも断然早い。
- システム改善の要望が出しやすくなった
- EDSとERMの連携がシンプルに
別ベンダーのシステム同士を連携させていたことによるねじれが解消
- サポートとの連携をとりやすくなった
 - 連絡にはBacklogを使用。
 - 質問・障害報告・KB修正依頼…等



移行してみて 課題

- FOLIOのプラットフォームはまだ成長途上
動作は軽いが、UI上の細かな不具合はむしろ増えた
- 日本語のマニュアルが存在しない ※英語マニュアルページはあり
- システム面の調整には、海外のチームとの連携が必要
EBSCO社が日本語で仲介してくださるも、互いに手間…
- 今後の成長に期待できるものの、現状は管理で手いっぱい。
FOLIOの思想に沿って積極的に成長にコミットしていけるほどの余力は…

参考文献

- 渡邊由紀子. 電子ジャーナルの導入とその影響について：九州大学の事例(<特集>電子ジャーナルの現状). 情報の科学と技術. 2005, 55(6), p265-270.
<https://hdl.handle.net/2324/2906>
- 片岡真. EJ等のリンク機能の応用事例 リンク・リゾルバーの効き目. 大学の図書館. 2005, 24(8), p161-164.
<https://hdl.handle.net/2324/2902>
- 片岡真, 轟朋子. ERMシステム導入で変わるeリソースサービス：平成19年度「電子情報資源管理システム(ERMS)実証実験」参加報告. 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2008, 2007/2008, p27-35.
<https://hdl.handle.net/2324/12517>
- 林豊. 最近の図書館システムの基礎知識：リンクリゾルバ、ディスカバリーサービス、文献管理ツール. 専門図書館. 2014, 264, p2-8.
<https://hdl.handle.net/2324/1446194>

九州大学附属図書館 関連サイト

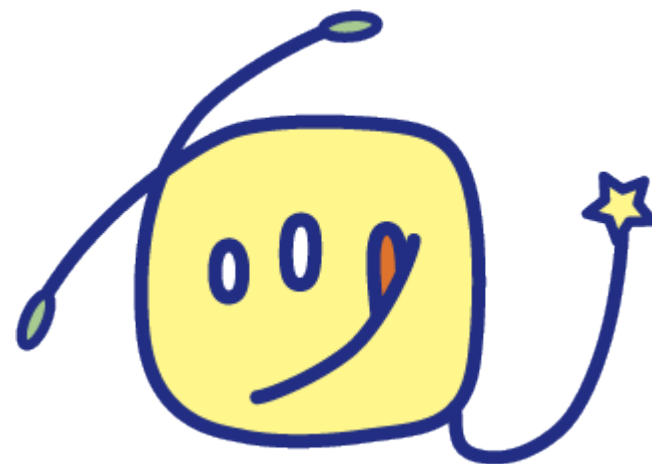
- 九大コレクション

https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_search/

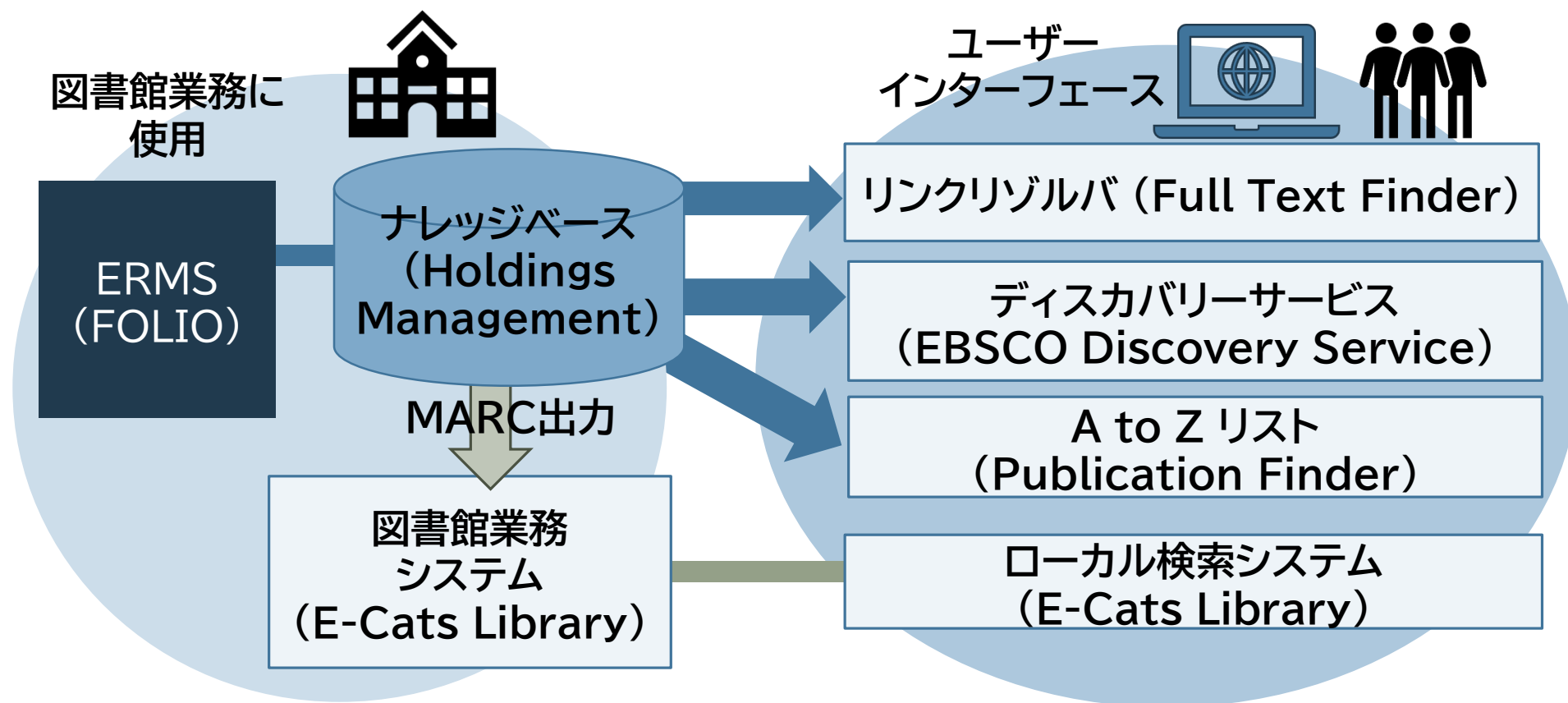
- きゅうとE-Journals

<https://publications.ebsco.com/?custId=s9615955&groupId=main&profileId=pfui>

ご清聴ありがとうございました

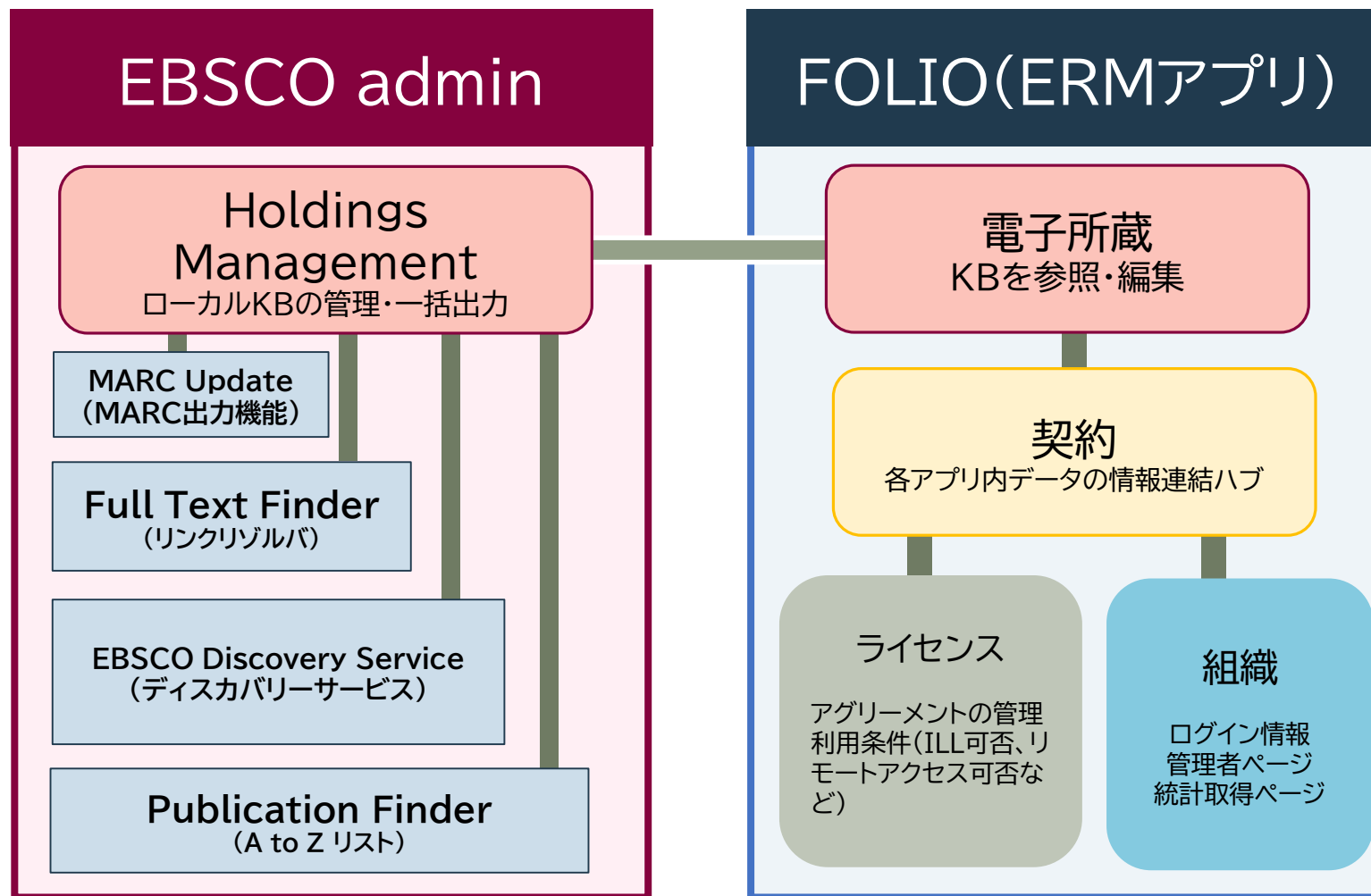


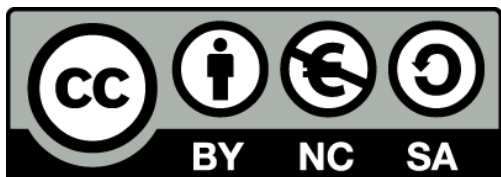
参考資料 別図① 当館の電子リソース管理・提供システム



※ () 内は使用製品名

参考資料 別図② EBSCO FOLIO ERMの構造





本著作の著作権は著者に帰属します。注があるものを除いて、
本著作の内容物はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-継承 4.0 国際
(CC BY-NC-SA 4.0)ライセンスの下に提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>